



# かわごえ 議会だより



川越市マスコットキャラクター ときも

ふるさと納税（楽器寄付）で頂いた楽器は  
中学校の部活動で大切に活用しています！



令和5年  
第4回定例会

令和4年度一般会計歳入歳出決算など10決算議案を認定  
こども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例を可決

## 定例会の経過

### <8月>

30日 議案26件上程 報告4件

### <9月>

- 4日 議案質疑
- 5日 議案質疑
- 7日 議会運営委員会
- 8日 一般質問
- 11日 一般質問
- 12日 一般質問
- 13日 一般質問

- 14日 一般質問 選挙1件
- 19日 2 常任委員会  
(総務財政・文化教育)
- 20日 2 常任委員会  
(保健福祉・産業建設)
- 21日 常任委員会 (保健福祉)
- 28日 議案26件 採決  
人事案件6件  
議員提出議案1件  
決議1件 採決

## 目次

市長提出議案	.....	(2)~(3)
議案議決結果一覧表	.....	(4)
議案質疑	.....	(5)~(8)
討 論	.....	(8)
一般質問	.....	(9)~(13)
常任委員会	.....	(14)~(15)
議会情報	.....	(16)

# 市長提出議案

32件の市長提出議案を審議しました。

採決の結果は4ページの議決結果一覧表を、各議案への質疑は

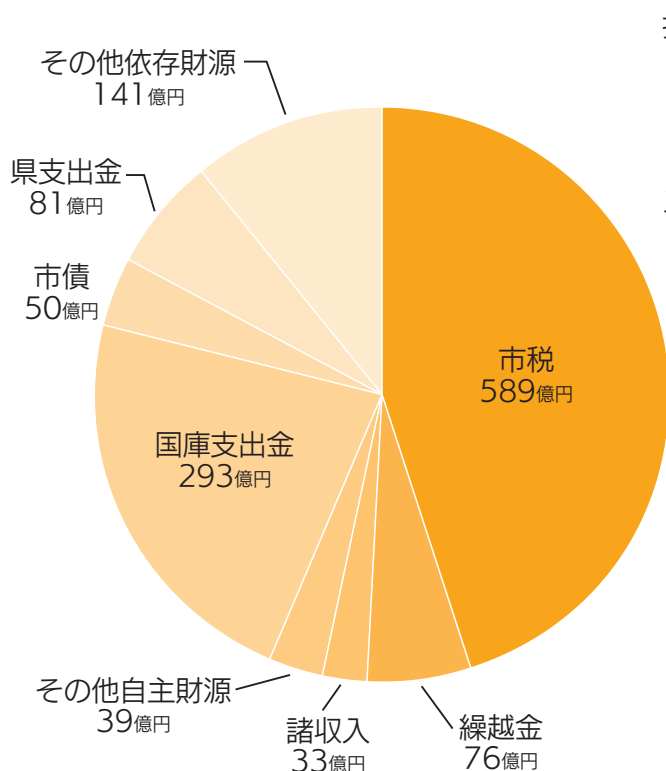
## 令和4年度一般会計歳入歳出決算認定

議案第49号

### 歳入

1303億660万円

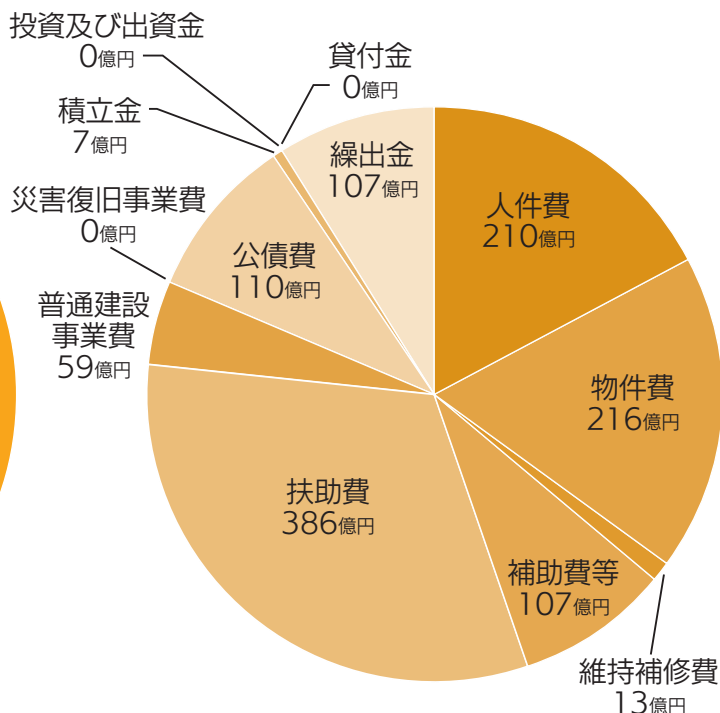
(前年度比32億3074万円減)



### 歳出(性質別)

1216億3129万8千円

(前年度比42億8213万8千円減)



※歳入歳出総額は千円単位とし、単位未満は切り捨てています。  
※計数は、それぞれ四捨五入しているため計が一致しない場合がある他、5千万円未満の場合は、0億円と表しています。

### 主な事業の成果

#### ■HPVワクチン接種の積極的勧奨の再開・接種

子宮頸がんの予防のため、国の方針に基づき、HPVワクチンの定期接種について積極的勧奨を再開するとともに、勧奨が差し控えられている間に接種機会を逃してしまった人を対象にキャッチアップ接種を実施した。

#### ■姉妹友好都市記念式典・シンポジウム

交流事業の継承をうたう国内姉妹友好都市との共同宣言への調印式等を行った記念式典の他、海外姉妹都市への中学生交流団派遣事業にかつて参加した派遣生らによる「都市間交流と若者の未来」について考えるシンポジウムを開催した。

#### ■初雁公園整備

市制施行100周年に合わせ、川越城本丸御殿周辺において休憩所や広場等の整備を行い、川越市民の日の令和4年12月1日から供用を開始した。

#### ■市制施行100周年記念事業

市制施行100周年会議に負担金を支出し、同会議の主催で記念事業、PR事業、市民団体等の記念事業への支援、記念誌制作などを実施した他、市制施行100周年記念事業基金等を活用し、市主催で100周年記念の特別事業などを実施した。

#### ■グリーンツーリズム整備推進

農業ふれあいセンターについて、木質化工事等の改修整備を行い、令和4年11月にグリーンツーリズム拠点施設としてリニューアルオープンした。オープン後は、運営管理の一部を民間事業者へ委託した。



市制施行100周年記念式典



グリーンツーリズム拠点施設

5～8ページを、討論は8ページをそれぞれご覧ください。

## こども医療費支給に関する 条例の一部改正 | 議案第61号

### 改正の趣旨

こども医療費の支給対象を拡大するため、川越市こども医療費支給に関する条例の一部を改正しようとするもの。

### 改正の内容

こども医療費の支給対象となる子どもについて、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者までとするとともに、その他所要の規定の整備をしようとするもの。

### 施行期日

一部を除き、令和6年4月1日

## 仮称新宿町1丁目広場整備 事業用地の取得 | 議案第67号

### 取得の目的

仮称新宿町1丁目広場を整備するため、川越市土地開発公社が先行取得している土地を取得しようとするもの。

### 土地の表示

川越市新宿町1丁目1番1

### 取得面積

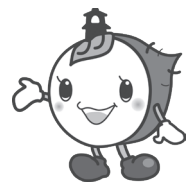
11,854.97㎡

### 取得予定価格

12億6474万6344円

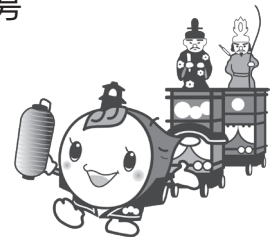
### 契約の相手方

川越市土地開発公社



## 令和5年度一般会計補正予算(第4号) | 議案第69号

補正予算額 **9億8716万3千円増**  
 (補正後予算額 **1263億7847万円**)



### ■川越まつり会館のリニューアル

今年9月に開館20周年を迎えた川越まつり会館の展示設備や空調設備の改修を行う。

#### ①川越まつり会館展示設備改修

- ・展示設備の改修に当たっては、既存の展示物を生かしながら、デジタル技術を積極的に活用した改修を行う。
- ・インバウンド対応も図るなど、川越まつりの魅力をさらに発信できるようにする。



川越まつり会館の外観



山車展示ホール

#### ②川越まつり会館空調設備改修

- ・老朽化が進む空調設備について、展示エリア系統の改修を行う。また、改修期間が長期にわたることから、繰越明許費を設定する。(令和6年5月ごろの完了予定)

### ■公共施設等の維持補修費の増額

市民等が利用する施設等において適切な施設運営を図るため、修繕等に係る経費を増額する。

### ■本川越駅スマートバス停留所整備補助

東武バスウエストが実施する本川越駅5番バス乗り場へのスマートバス停留所整備事業に対して、事業費の一部を補助する。

- ・1台分の停車区画に多くの路線が乗り入れ、利用者にとって分かりづらい状況を解消するため、デジタルサイネージ等を活用した利用しやすい停留所に整備される予定。



本川越駅5番バス乗り場

### ■こども医療費助成制度の拡充に伴うシステム改修等

こども医療費助成制度の拡充に向けて、システム改修や新たな受給資格証の交付等を行う。

# 議案議決結果一覧表

今定例会で審議した議案の議決結果は以下のとおりです。

## ■ 全員一致で可決した議案

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案 48	令和4年度川越市水道事業の利益の処分	議案 67	仮称新宿町1丁目広場整備事業用地の取得
議案 54	令和4年度川越市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算認定	議案 68	川越市道路線の認定（開発行為）
議案 55	令和4年度川越市川越駅東口公共地下駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定	議案 69	令和5年度川越市一般会計補正予算（第4号）
議案 56	令和4年度川越市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	議案 70	令和5年度川越市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
議案 57	令和4年度川越市水道事業会計決算認定	議案 72	令和5年度川越市水道事業会計補正予算（第1号）
議案 58	令和4年度川越市公共下水道事業会計決算認定	議案 73	令和5年度川越市公共下水道事業会計補正予算（第1号）
議案 59	川越市市制施行百周年記念事業基金条例を廃止する条例	同意 7	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること （中山達人氏）
議案 60	川越市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	意見 1	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること （猪野晴代氏）
議案 61	川越市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	意見 2	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること （宮崎洋子氏）
議案 62	川越市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	意見 3	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること （高柳亮伯氏）
議案 63	川越市保育料等に関する条例の一部を改正する条例	意見 4	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること （鈴木友子氏）
議案 64	川越市災害派遣手当等の額に関する条例の一部を改正する条例	意見 5	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること （大泉一夫氏）
議案 65	川越市衛生関係事務手数料条例の一部を改正する条例	議案出議5	川越市議会会議規則の一部を改正する規則
議案 66	川越市旅館業法施行条例の一部を改正する条例	*議長は採決に加わっていません	

## ■ 賛否が分かれた議案

○……賛成 ×……反対 △……退席

議案番号	議案名	議決結果	会派等の賛否									
			初雁自由政令会 9人	公明党議員団 7人	川越志政会 7人	日本共産党議員団 4人	川越政策フォーラム 3人	無会派				
								れいわ新選組 1人	日本維新の会 1人	参政党 1人	無所属A 1人	無所属B 1人
議案 49	令和4年度川越市一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案 50	令和4年度川越市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案 51	令和4年度川越市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案 52	令和4年度川越市歯科診療事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○
議案 53	令和4年度川越市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案 71	令和5年度川越市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
決議 1	川合善明市長に対する辞職勧告決議	否決	×	×	×	○	※2	○	○	×	×	○

\*議長は採決に加わっていません

※1…賛成2人、反対2人 ※2…賛成1人、反対1人

### 会派別所属議員

初雁自由政令会	小林範子 小島洋一 神田賢志 牛窪喜史 村山博紀 小高浩行 ○吉野郁恵 中原秀文 小野澤康弘
公明党議員団	須藤直樹 鈴木謙一郎 嶋田弘二 田畑たき子 中村文明 桐野忠 小ノ澤哲也
川越志政会	松本さきみ 倉嶋真史 糸真美子 中野敏浩 栗原瑞治 樋口直喜 吉敷賢一郎
日本共産党議員団	池浜あけみ 今野英子 柿田有一 川口知子
川越政策フォーラム	高橋剛 ◎山木綾子 片野広隆
無会派	小林透（れいわ新選組） 柳沢貴雄（日本維新の会） 加藤みなこ（参政党） 伊藤正子（無所属A） 川口啓介（無所属B） 小林薫（無所属C）

◎：議長 ○：副議長

## 本会議における 議案質疑

今定例会では延べ17名の議員が質疑を行いました。  
採決の際、討論を行った議案には「**討論あり**」と表示し、  
その内容は8ページに掲載しました。

議案第49号

### 令和4年度一般会計歳入歳出決算認定

初雁自由政令会 | 川越志政会 | 無所属 | 無所属 | 日本共産党  
政策フォーラム

**討論あり**

**問** 市政方針の令和4年度事業進捗に対する市長の見解は。

答 新型コロナウイルス感染症対策とプレミアム付電子商品券発行等、社会経済活動の両立に向けてしっかり取り組んだ。また子どもの居場所の開設、本丸御殿周辺の広場整備、グリーンツーリズム拠点施設整備等の各事業を進める等子ども・子育て、産業等さまざまな分野において一定の成果を残し、四つの川越づくりの推進を図れた。

**問** 教育行政方針の令和4年度事業進捗の教育長の見解は。

答 周期的な感染拡大への備えを怠ることなく、基本的感染防止対策を徹底し、教育活動の機会の確保、学びの保障に努めた。多くの施策を展開し学校教育、社会教育の充実と発展に努め、令和4年度教育行政方針の各種施策はおおむね順調に取り組むことができたと思う。

**問** 令和4年度決算の特徴をどのように捉えているか伺う。

答 前年度と比較して、歳入決算は、国庫支出金、市債の減等により減少した。歳出決算は、民生費、衛生費、農林水産業費の減等により減少した。

**問** 予算規模の大きい事業のうち、執行率が低かった事業の不用額について伺う。

答 主な不用額は、特定世帯等臨時特別給付金給付事業での約15億円や予防接種の推進での約6億円である。

**問** 令和4年度の市財政の健全性等について、市はどのように総括しているか伺う。

答 財政調整基金の当初予算への組み入れが近年恒常化し、不測の事態への対応力に脆弱性が見られることから、持続可能な行財政運営の実現に向けて引き続き取り組む。

**問** 再開に当たりメリットとデメリットを案内するべき、HPVワクチン接種の副反応も含めた状況について伺う。

答 令和4年度のキャッチアップ接種を含めたHPVワクチンの接種件数は、延べ4108件であった。接種後の症状に関する問い合わせを受け、県内の協力医療機関を案内したケースは令和4年度に1件あったが、予防接種健康被害救済制度の申請等はなかった。

**問** 災害が増えている。災害時に助けが必要な避難行動要

支援者への個別避難計画作成に向けた取り組み状況は。

答 作成方針や推進体制などについて検討し、福祉部等の関係部署と協議を行ってきたところである。引き続き協議を進め、具体的な作成方法等について決定するとともに、個別避難計画作成に係る同意確認を進める。

**問** 補助金支出の見直しにはガイドラインの策定が必要と考えるが、見直しの取り組み状況を伺う。

答 定期的な検証や見直しを主体的に行うことができる体制を整備するため、今年度を目途に、補助金の基本的な考え方や具体的な指標等を明確にするガイドラインを策定する予定である。

**問** 財務書類等をより有効に活用するため、事業別や施設別のセグメントによる分析について、昨年の決算質疑では調査研究したいと答えているが、どう取り組んだのか。

答 施設別のセグメント分析ができるように、令和4年度に導入した財務会計システムにおいて、財務書類や固定資産台帳をより有効に活用するための資産情報等の整理を行っている。

**問** 節電推進事業における省エネエアコン購入費用の助成について伺う。

答 省エネエアコンの購入に対して505件補助金を交付し、家庭から出る二酸化炭素排出量の抑制に一定の効果があったものと考えている。

**問** 小中学校のトイレ改修工事について、今後の進め方は。

答 令和4年度末で全ての小中学校で1系統目が完了。整備期間短縮化や事業費の課題があるため、今後は工事内容の見直しを含めて検討を行い、計画的な整備に努める。

**問** 水害ハザードマップの更新の効果について伺う。

答 洪水浸水想定区域や水害時の避難行動などに関する最新情報を反映し、さらなる内容の充実により、市民の防災意識向上に大きな効果があると思う。

**問** 就任して1年が経過したが、技術職出身の副市長として、どのようなことに重点を置いて職務に当たってきたのか宮本一彦副市長に伺う。

答 政策実現への取り組みとしては、雇用創出効果や企業誘致を進めることが重要であり、駅を中心とした都市基盤整備の推進等を計画的かつ効率的に進めることも重要

と認識する。企業誘致や都市計画に基づくまちづくりは時間がかかる事業であることから着実に取り組んでいる。

技術職出身の視点として公共施設や道路などの整備に当たり、災害対策を含めた安心安全なまちづくりを意識しつつ、効率的かつ効果的な手法、費用軽減につながる手法を意識している。また、ウェスタ川越等の整備の経験を生かし、公民連携や民間活力の導入も意識している。

#### 議案第53号

### 令和4年度介護保険事業特別会計 歳入歳出決算認定

無所属

**問**人手不足を解消し持続可能な介護を実現するため、エッセンシャルワーカーである介護職の処遇改善の状況は。

**答**1人当たりの収入を3%程度、月額9000円相当引き上げる介護職員等ベースアップ等支援加算の令和5年3月1日時点の申請状況は、前提となる処遇改善加算を取得している288事業所のうち258事業所、89.6%である。

**問**いくつになっても自分らしく暮らすため、団塊世代が75歳以上となる2025年に向けた市の対応について伺う。

**答**国は、2025年を目途に、地域包括ケアシステムを段階的に構築することとしている。本市においても、2025年以降を見据え、システムの5つの要素である住まい、医療、介護、生活支援、介護予防の有機的な連携を図るため、関係機関等とのネットワーク構築に努めている。

#### 議案第61号

### 子ども医療費支給に関する条例の 一部改正

初雁自由政令会 | 公明党 | 日本共産党

**問**今回の改正に至るまでの経緯について伺う。

**答**平成26年に支給対象を中学校3年生までの入院・通院として以降、市民や議会の皆さまから、さまざまな意見や要望をいただいた。昨年より関係部局で具体的な検討を進め、併せて、部内で事務事業の見直しに着手し、一定程度の財源の確保に見通しが得られた。本市も少子化が進行する中、子どもが医療を受けられる機会の確保と子育て世代の負担軽減を図るため、子ども医療費の対象年齢拡大を進める必要があると考えている。

**問**改正により、新たに対象となる子どもの人数を伺う。

**答**新たに対象となる人数は、約1万人を見込んでいる。

**問**医療費の増加額の見込みを伺う。

**答**令和6年度は、約1億3千万円と見込んでいる。

**問**対象年齢拡大に伴い、登録に向けた勧奨通知を送付するとなっているが、その内容はどのようなものか？

**答**15歳年度末までの子どもは、更新の手続きをしなくて

も新たな受給資格証が交付されるが、新たに支給対象となる現在高校1年生または2年生相当年齢の子どもを持つ保護者へ勧奨通知を送付し、受給資格登録申請書の提出が必要となることを通知するものである。

**問**国民健康保険制度の国庫負担減額調整措置とは、どのようなものか？

**答**医療保険制度では、医療を受けた人から一部負担金を求めるが、子ども医療費などにより一部負担金が法定割合より軽減される場合、この分を地方自治体が負担するものとして国民健康保険制度の国庫負担が減額される。

**問**財源をどのように考えているのか。

**答**対象年齢の拡大に当たり財源の確保が必須となることから、部内で事務事業の見直しに着手し、一定程度の財源の確保について見通しが得られた。しかし、現時点では所要額の全額を確保しているものではないことから、引き続き事務事業の見直しに努める。

**問**国民健康保険税などを滞納していても支給されるのか。

**答**子ども医療費は、保険診療における一部負担金について支給することとなっており、国民健康保険税の滞納の有無とは関わりなく支給される。

**問**この制度はマイナンバーとどのように連携するのか。

**答**具体的な内容やスケジュールは、まだ示されていないため、国の対応を注視し、適切な対応に努めたい。

#### 議案第67号

### 仮称新宿町1丁目広場整備事業 用地の取得

初雁自由政令会 | 川越志政会

**問**これまでの用地の取得に至る経緯は。

**答**当該事業用地は昭和5年に本市が県に寄付し、県において活用された後、地方庁舎移転に際し本市の利活用を優先したいとの県の意向が示され、本市も取得を希望し、平成30年に川越市土地開発公社において先行取得した。

**問**用地取得費の算出根拠はどのようなものか。

**答**県の条例および事務取扱要領に基づき、当該地の大部分が本市から県に寄付した土地であったこと、および当該地を市が公共の用に供することを踏まえて減額となり、おおむね不動産鑑定評価額の4割の金額となっている。

**問**この広場はどのような用途で利用するのか。

**答**災害時には一時避難場所、平常時には主に地域住民や周辺施設利用者の憩いの場となることを想定している。

**問**当該事業用地の取得に際し、埼玉県との協議でどのように指定用途を定めたのか伺う。

**答**東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会および

び同大会関連イベントでの暫定利用ならびに暫定利用後に防災機能を有する広場の用に供することを定めた。

**問** 同様に埼玉県との協議で定めた供用期間について伺う。

**答** 県の事務取扱要領に基づき、減額売り払いの条件として10年間は広場の用に供することとされている。

**問** 仮称新宿町1丁目広場と都市公園における整備・運用・管理の違いについて伺う。

**答** 都市公園は都市公園法や都市公園条例に基づくが、当広場はこれらの法令の適用を受けないため、規定類を参考に別途ルールを定めることを予定している。



仮称新宿町1丁目広場整備事業用地

#### 議案第69号

### 令和5年度一般会計補正予算(第4号)

初雁自由政令会 | 川越志政会 | 公明党 | 日本共産党

**問** 川越運動公園陸上競技場空調機改修の効果について伺いたい。

**答** 陸上競技場内の既存の空調機を更新することにより、省エネ効果と施設内の空調機能を維持するものである。

**問** 今回9月で財政調整基金への積み立てを行う理由は。

**答** 剰余金の確定を受けて積み立てを行うことで、年度途中の早い段階から財政調整基金の残高を意識した財政運営を行おうとするものである。

**問** 財政調整基金を積み立てることの効果をどのように捉えているか。

**答** 今後の社会環境の変化に伴う課題に対応できる健全な財政運営の実現と、災害などの不測の事態に対応できる財政基盤の構築に資するものと認識している。

**問** 今回の補正予算において、歳入予算の特徴は何か伺う。

**答** 年度後半の各事業の実施に当たって当初見込めなかった事業費や、交付額の決定を受けるなどして確定した予算額に対する財源調整を中心に編成した。

**問** 今回の補正予算で維持補修についての予算措置をしようとするのはなぜか伺う。

**答** 新型コロナウイルス感染症が感染症法上第5類に位置付けられ、市民等が公共施設を利用する機会が増えてき

ていることから、施設等を適切に運営していくために、当初予算では翌年度以降に見送りと判断せざるを得なかった維持補修に係る修繕や年度途中で新たに発生した修繕などについて、本補正予算に計上することにより早期の対応を図るものである。

**問** 物価高騰の影響は今後もしばらく続くと思われるが、市としてどのように対応していくのか伺う。

**答** 適正な見積もりに基づいた予算編成に努めるとともに、不測の予算不足に対しては、当初の目的をできる限り達成できるよう適切な方法で予算措置を講じていきたい。

**問** 本川越駅スマートバス停留所整備について、インバウンド向けの対策として、多言語化するのか伺う。

**答** デジタルサイネージに表示される行き先は、日本語、英語、韓国語、中国語の4カ国語による案内を検討していると、東武バスウエスト株式会社から聞いている。

**問** 順番受付発券機の市民センターへの導入について伺う。

**答** 市民センター11カ所のうち、導入済みの高階を除き、年間窓口処理件数が1万5千件以上の5カ所に導入する。



高階市民センターの受付カウンター



同センターの順番受付発券機

**問** 順番受付発券機導入による業務効率化によって得た効果で、新たにどのような施策を行うのか。

**答** 市民からの質問や相談に対し、より親切丁寧な対応を行う時間が確保でき、さらなる市民サービスの向上につながるものと期待している。

**問** 「厳しい財政状況」という言葉が多用されているため部局からの予算要求が消極的になっていると感じる。予算要求の過程で、部局内で見送られたものが分かるような仕組みを考えるべきではないか。

**答** 部局内で見送られた予算要求の内容を把握し、各部局の意向を踏まえた査定作業を行うため、予算要求を見送った事業をリスト化して報告を求めるなど、具体的に検討していきたいと考えている。

## 議案第71号

令和5年度介護保険事業特別会計  
補正予算(第1号)

日本共産党

問第8期計画期間の3年間における介護保険保険給付費等準備基金の年度末残高について伺う。

答令和3年度が33億7197万4537円、令和4年度が31億7527万9939円、令和5年度が28億8663万9939円である。

問入所者の補足給付の負担増による影響額を伺う。

答補足給付を經理する特定入所者介護サービス等費の令和4年度支出済額は4億3865万4819円であり、令和2年度から1億6456万3160円減少した。

問訪問介護サービスが必要な人に行き渡っていないのではないか。

答昨年度実施した居宅介護支援事業所への調査や医療・介護の現場の声を聴く会議において、訪問介護サービスやヘルパーが不足しているとの意見をもらっている。

## 討論

今定例会の最終日に次のような討論が行われました。

## 議案第49号

反対 | 日本共産党

低所得者への給付金事業の執行率37%など、多くの予算を余らせたことで、決算は約89億円が不用額となった。マイナンバーカードと保険証の一体化はやめ、現行の保険証を存続させるべき。保育ステーションの送迎保育、子育て短期支援事業など利用人数が少なく、周知が不十分。生活保護を受けさせないような対応は問題。シャトルバスが減便になった。教職員の未配置・未補充への対応や子どもの不登校への対応を強化すべきである。

賛成 | 初雁自由政令会

決算額は、令和3年度に引き続き大きな決算規模となった。歳入の特徴として、市税収入が約19億円の増となり、ふるさと納税も約4億5千万円となった。歳出規模も、昨年度同様に大きな決算規模となり、各種給付金、支援金、新型コロナウイルス感染症対策、物価高騰対策、プレミアム付電子商品券発行に加え、本丸御殿周辺の広場整備などの市制施行100周年記念事業が効果的に実施された。川合市長のリーダーシップと職員の尽力による確かな対応と成果を高く評価するとともに、第四次川越

市総合計画に掲げた本市の将来都市像の実現に向け、健全で持続可能な行財政運営を目指すことを要望し、賛成の討論とする。

賛成 | 無所属

川越市は、市制施行100周年を迎えた。少子高齢化や公共施設の維持・更新等の課題はあるが、これからも福祉や教育の充実、地域経済の活性化、都市基盤の整備、環境対策など、市民のために平和で暮らしやすいまちづくりにつながる決算であり、市民と協力し川越市全体で取り組んでいくと確信したので、以上賛成討論とする。

## 決議第1号

賛成 | 日本共産党

市長の言動は公私を問わず関心を持たれる。信条が違っても真摯に対応すべき。職員ハラスメント防止指針では人権に関わる重要な問題としている。市長を含め同様の立場で対応すべきことは当然。裁判で市長は相手をうそつき呼ばわりしたが許されるものではない。議会は政治倫理条例で疑いを持たれた場合の対応を定め、市民の代表として誠実に職務を行うと宣誓している。市長をチェックする役割を果たすことは我々の当然の責務。

## 本会議の様子は以下の方法でもご覧いただけます

■ インターネット中継 ライブ/録画

川越市議会ホームページ



インターネット中継は  
こちらから ▶



■ 会議録 今定例会分は11月下旬ごろから

川越市議会ホームページ

川越市立図書館など



会議録の閲覧はこちらから ▶





## 一般質問

30名の議員が市政に関して一般質問を行いました。  
2次元コードにアクセスすると中継映像がご覧いただけます。



初雁自由政令会 **村山 博紀**  
自治会の課題と今後 1



**問**空き家対策やごみ屋敷対策など地域課題の取り組みの推進には自治会と行政の関係性向上が重要だ。自治会との協力関係維持について、今後の展望を伺う。

**答**市長 これまで川越市自治会連合会等と協力しながら、地域における課題解決に向けた活動を推進してきた。

空き家問題等の新たな課題に対しても、各地域からの要請に応じて職員が地域に出向き、各種制度の説明や問題の解決に向けた先進事例を紹介するなど、積極的な情報発信、情報提供を行っている。

今後も自治会を中心とした地域住民との協働による、安全で安心な住みよい地域づくりを推進していきたい。

【問】空き家とごみ屋敷の対策



初雁自由政令会 **牛窪 喜史**  
地域コミュニティ醸成を 2



**問**地域コミュニティの醸成を図るため地域の行事やイベントの継続や復活が重要と考えるが、市の考えを伺う。

**答**市民部長 市民が安心して生活できる環境を整えるには、地域コミュニティ活性化の機運を作り出すことが非常に重要である。

対面で行う行事やイベントは、人と人とのつながりを生み出し関係性を深める契機となるもので、活発な地域活動はコミュニティの維持に不可欠のものと考える。

今後も自治会との信頼関係を維持しながら地域コミュニティのニーズを捉え、実情に応じて活動を継続できるよう支援していきたい。

【問】地域イベントの活性化 【問】自然災害の備え



初雁自由政令会 **中原 秀文**  
市民を守るための都市計画 3



**問**50年後、100年後を見据えた長期的視点に立った水害から市民を守るための都市計画について、市の居住誘導に関する考え方も含め、市の考えを伺う。

**答**都市計画部長 洪水浸水想定区域の一部は、周知を徹底することや水害対策を講じていくことを前提に、居住誘導区域に含めている。各種災害のリスク評価を行った上で、地区ごとの課題について整理し、これから転入する人も含め市民にも広く周知をすることで地域の防災対応能力の向上も図りながら、ハード・ソフトの対策を組み合わせた対策について関係部局、関係機関とも連携しながら取り組んでいきたいと考えている。

【問】水害から市民を守る



初雁自由政令会 **小島 洋一**  
福原地区の通学路道路環境 4



**問**福原地区の通学路の問題の一つである、ゲリラ豪雨等により道路冠水が発生する県道川越所沢線の中福交差点について、どのような対応を行っているのか伺いたい。

**答**建設部長 県道川越所沢線の中福交差点は、地形上、周辺からの雨水が集中しやすく、大雨により度々冠水が発生する状況にあった。このため、交差点に接続する市道0056号線の道路側溝の堆積土砂撤去と、市道側溝から県道側溝へ排水管を接続する対策の結果、冠水について一定程度の改善が図られたと認識している。引き続き排水施設の適切な管理に努めるとともに、ゲリラ豪雨時等における冠水状況を注視し、必要な対策を検討していく。

【問】福原地区の道路環境



初雁自由政令会 **小林 範子**  
変化する高齢者像と居場所 5



**問**高齢者像の変化に伴い、市は経験や趣味を生かした居場所づくりや活動づくりをどのように進めていくのか伺いたい。

**答**福祉部長 高齢者像の変化に伴い生活が多様化する中、培った能力や経験、自分の趣味、関心、強み等を生かした活動を行い、活躍し続けられることが大切である。生活支援コーディネーターの活動をこれまで以上に充実させ、地域資源の発掘やその情報を関係者等が共有・周知することで、高齢者一人一人が自分に合った居場所や活動の場を選択し、高齢者がいつまでも人や地域とつながり、生き生きと過ごせるよう取り組んでいく。

【問】シニア・子どもの居場所



川越志政会 **松本 きみ**  
大東グラウンド等の活用 6



**問**大東グラウンド、BMX・スケートボードエリアの地域活性化に資するような活用について、どのように考えているのか伺いたい。

**答**都市計画部長 大東グラウンドは、広い面積を有した都市公園で、多くの駐車場もあり、地域の人が主催するようなイベントや地域活動の場としても活用できるものと考えているので、地元等で利用に関し相談があれば、適宜、対応したいと考えている。

【問】大東グラウンドの今後 【問】子どもの読書のあり方





れいわ新選組 **小林 透**  
安全な通学路の確保を 7



**問** 児童や生徒が安全に登下校できるように通学路の安全対策に市としてどのように取り組んでいく考えなのか伺いたい。

**答** 市民部長 児童生徒が安全に通学できるよう、学校や警察をはじめとした関係機関と十分な連携を図りながら、交通指導員の適切な配置、交通安全施設の迅速な整備、学校で実施している交通安全教室などを通じて、児童生徒が交通事故に遭わないよう、引き続き交通安全対策について取り組んでいく。



☞ 斎場の運用

☞ 通学路における安全確保



公明党 **嶋田 弘二**  
学校の諸課題について 9



**問** 起立性調節障害の症状により不登校になる割合も多いため、児童生徒に対する学校の対応について伺う。

**答** 学校教育部長 学校では、医療機関で起立性調節障害と診断された児童生徒、その保護者からの申し出を基に、児童生徒の体調を最優先にした対応に努めており、児童生徒の体調と状況に応じて、遅刻、欠席、早退を認めている。

また、養護教諭、スクールカウンセラー、さわやか相談員等と連携し、保健室やさわやか相談室において、本人の心身の悩みを聞きながら、個別の健康相談や教育相談を行い、保健面・心理面からの支援をしている。

☞ 学校の諸課題

☞ カスタマーハラスメント



公明党 **鈴木 謙一郎**  
本市のPFI事業について 11



**問** 民間企業にとっても、地域や市の発展に貢献しながら利益を出していける事業が理想と考えるが、今後のPFIの活用について本市の見解を伺う。

**答** 総合政策部長 今後のPFIの活用については、厳しい財政状況の下、より良いサービスを提供するため、また、今後多くの公共施設等が老朽化による更新時期を迎える中で、公共施設等の整備を進めるためには、行政が担うべき役割を整理した上で、民間の創意工夫によって効率的・効果的に公共サービスの提供が見込める事業について、積極的に民間企業との連携を図っていく必要があるものと考えている。

☞ PFI事業



日本維新の会 **柳沢 貴雄**  
市役所窓口対応の改善を！ 8



**問** 冷たい窓口対応や、役所内をたらい回しにされた市民から相談を受けているが、職員の接遇について、どのような認識を持っているのかを問う。

**答** 総務部長 市役所や市の施設にさまざまな手続きなどに訪れた人に満足してもらうためには、接遇は大変重要であると認識している。職員の接遇については、職場研修等で繰り返し学ぶ機会を確保するとともに、マニュアルを作成し、適切な業務上の対応はもとより、身だしなみ、あいさつ、態度、言葉遣いを適切にするよう心がけることとしている。来庁者の意見等も踏まえ、日々の業務や研修等を通じて接遇のさらなる向上に取り組む。

☞ 職員の労働環境



公明党 **須藤 直樹**  
視覚障がい者の安全確保を 10



**問** 市として、歩行環境の不具合、不足箇所等の総点検実施を提案する。視覚障がい者の歩行環境において、今後、どのように安全を確保していくのか市の考えを伺う。

**答** 建設部長 視覚障害者に安全安心に道路を利用してもらうには、視覚障害者のニーズや危険箇所などを詳細に把握することが重要であると認識している。その上で、現地の状況に応じて、誘導ブロックや防護柵等の設置、段差解消、歩道の拡幅など必要な対策を検討していく。今後も引き続き、障害者団体などの関係機関と連携し、視覚障害者の安全確保に努めていく。

☞ 防災減災対策

☞ 視覚障害者の安全確保



公明党 **中村 文明**  
週休2日制モデル工事対応 12



**問** 令和6年度より労働基準法の改正が建設業へ適用される中、週休2日制モデル工事への対応について市の考えを伺いたい。

**答** 宮本副市長 本市では、建設業界の担い手確保に向けた働き方改革を推進する観点から、令和2年度より週休2日制モデル工事の実施に取り組んできた。労働基準法の時間外労働の上限規制が令和6年度から適用となり、労働時間の見直しは建設業界の重要な課題であると認識している。週休2日制モデル工事を推進・拡大していくことは、長時間労働の縮減が期待でき、将来の若手技能者等の担い手の確保や育成につながるものと考えている。

☞ 公共工事等の諸課題

☞ 子どもたちの歯の健康



川越志政会 中野 敏 浩

民間井戸の活用について 13



**問** 災害の規模によっては市で整備した災害用給水井戸だけでは供給が追いつかない可能性があると考えますが、民間井戸の活用について市の考えを伺う。

**答** 危機管理監 川越市地域防災計画では、災害時に飲料水や生活用水を確保するため、災害用給水井戸、浄水場、耐震性貯水槽、小中学校等の受水槽に加え、必要に応じ民間井戸等も活用することとしている。現状では民間井戸を利用できる体制は整っていないが、災害時に水を確保する手段をより多く備えておくことは有効と考えられるため、今後検討していきたいと考えている。

☞ 災害に備えた再点検



川越志政会 桑 真 美子

校区スポーツ大会の検討を 15



**問** 実施率が年々低下している。保護者をはじめ児童、役員負担も大きく、主催と主管の区別が不明確との指摘もある。早急に改善すべきだが、今後の在り方を伺う。

**答** 文化スポーツ部長 核家族化や少子化、地域社会への考えの変化が進み、大会の開催が困難となっていると認識している。しかし、児童の心身の健康を育むとともに、社会性を養う目的は不変であるとも考える。今後も主催となる、市、教育委員会、青少年を育てる市民会議、子ども会育成団体連絡協議会を通じ、スポーツ推進委員、学校、育成会等の相互理解を図り、必要な改善を行いつつ、大会の継続と発展に向けて検討を行っていく。

☞ 校区スポーツ大会



参政党 加藤 み な こ

秋接種の情報発信について 17



**問** ワクチン接種がきっかけで副反応や体調不良に苦しむ人を増やさないために新型コロナワクチン接種に関する情報発信をどのように行っていくか考えを伺う。

**答** 保健医療部長 新型コロナワクチン接種について、国は予防接種の有効性や安全性、副反応のリスクなどワクチンの科学的知見を国民に情報提供することとなっている。接種開始から約2年半が経過し、接種後発症したさまざまな症状などの知見が国に集約されている。このような情報を含め、最新の情報を市ホームページにおいて掲載するなど、きめ細やかな情報提供に努めていきたい。

☞ ワクチン接種の情報発信 ☞ コロナ禍後の学校教育  
☞ みどりの学校ファーム



川越志政会 倉 嶋 真 史

卸売市場の今後について 14



**問** 仲卸業者の数が減り、店舗区画に空きが生じている。空き店舗の有効活用や市場の機能強化としての考えについて市の認識を伺う。

**答** 産業観光部長 仲卸業者など市場入場業者が減少する中、市場内の空きスペースを有効活用しながら、仲卸業者の生産性向上のための冷蔵や冷凍設備、衛生管理を充実させる設備の整備や来場者が利用しやすい店舗配置など、市場流通の変化や入場業者・消費者のニーズに対応した市場機能の必要性について聞いているところである。

市としては、市場を取り巻く状況の変化に対応した市場の活性化に向けた取り組みを期待している。

☞ 卸売市場の今後



川越志政会 樋 口 直 喜

歴史的建造物の防火・防災 16



**問** 被災した歴史的建造物を保険で再建する場合、高額な保険の備えが必要だと思うが、個人所有の歴史的建造物への市による包括的な保険加入や補助は考えられないか。

**答** 教育総務部長 今年8月に実施した防火・防災対策の実施状況に関するアンケート調査の結果により、歴史的建造物の再建に特化した保険商品が確認できなかったこと、また、所有者は再建費用の補償が含まれることで、保険料が高額になってしまうことを懸念している様子が確認できた。まずは、さまざまな補償保険を扱う包括連携協定企業等へのヒアリングを行うなど、今後、調査、研究に努めたい。

☞ 文化財建造物等の防災



無所属 川 口 啓 介

決定は市長判断によるべき 18



**問** 公共施設の廃止、複合化を含めた施設の集約等の取り組みの決定は、市長の判断によるべきものと考えますが、市長の考えを伺う。

**答** 市長 本市は人口急増期に多くの公共施設を整備してきた。現在はその多くが老朽化し、大規模修繕や建て替えが求められる他、社会保障や少子高齢化に合わせたまちづくりという課題にも対応するため、財政コストを考慮した行財政運営に取り組んでいる。財源を有効活用し、将来も必要な行政サービスを安定的に提供するためには、集約等の取り組みを進めることも考えられる。取り組みを進める際には、必要に応じて私が判断していく。

☞ 公共施設マネジメント



無所属

伊藤正子

市民参画のまちづくりを！ 19



**問**市民、男女共同参画、少子高齢化、防災等の視点を取り入れ持続可能な川越として目指す将来都市像を伺う。

**答**総合政策部長 第四次川越市総合計画では、将来都市像を「人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち 川越」として定めて各施策を推進している。

本市を取り巻く環境は、少子高齢化の進展、人口減少社会への対応等厳しさを増す。そのような認識の下、第五次川越市総合計画の策定に向けて市民満足度調査や市民との意見交換、川越市総合計画審議会での審議を経て、SDGsの推進や共生社会の実現、激甚化する自然災害への対応も見据え、将来都市像を定めていきたい。

☞都市計画マスタープラン



公明党

田畑たき子

学校図書館の整備の充実 21



**問**デジタルだけでなく、活字の文化も必要と感じる。限りある予算の中で、魅力ある学校図書館とするために、今後どのように整備を充実させていくのか伺う。

**答**学校教育部長 魅力ある学校図書館とするためには、学校図書館における蔵書の充実が何よりも大切であると考えている。まずは、学校図書館図書標準の達成を目指すとともに、蔵書が充実したものとなるよう、新規購入図書の適切な選書に努めるとともに、廃棄冊数の上限についても見直しを行っていく。

☞学校図書館の整備の充実 ☞障がい者支援



政策フォーラム

高橋剛

伊佐沼のハスの再生復活を 23



**問**今年伊佐沼のハスの花を見ることができず残念との声を聞く。伊佐沼の蓮を咲かそう会をはじめボランティアにより守り育てられてきたハスの再生復活を市長に伺う。

**答**市長 伊佐沼は古くからハス、ヨシが群生し、多くの野鳥が飛来する自然環境の優れた水辺空間であり、地元住民が周囲を散歩するなど、憩いの場として親しまれている。ハスの花が咲かなかったことは、非常に残念なことであるが、その原因との疑いがあるアカミミガメの防除に引き続き協力するとともに、貴重なハスの再生に向け、関連する団体を支援したいと考える。

☞伊佐沼の蓮と外来生物 ☞マイナカードと保険証



無所属

小林薫

市長のわいせつ行為被害者 20



**問**川合市長のわいせつ行為被害者女性の申述書によると、被害者は民生委員・PTA役員にまで及んでいる。市は第三者委員会を設置して実態解明すべきでは。

**答**栗原副市長 市が訴訟の当事者ではないので、私からの回答は差し控える。



☞市長のワイセツ行為裁判



公明党

小ノ澤哲也

接種の検討をするために！ 22



**問**キャッチアップ接種の未接種者に対し、令和6年度が最終年度となることを、内容を工夫した上で、もう1度、通知すべきと考えるが、市の考えを伺いたい。

**答**保健医療部長 キャッチアップ接種の未接種者に対しては、令和6年度が最後の接種機会であることを知らせる通知の送付について検討する。なお、通知を送付する場合には、余裕を持って3回の接種が終了されるよう、通知の時期は令和6年度の前半が望ましいと考えている。



☞子宮頸がん予防ワクチン ☞带状疱疹ワクチン



政策フォーラム

片野広隆

保育園入園申請の改善を！ 24



**問**父母が市内在勤かつ市外在住児童について、入園申請を受理していながら、希望重複や欠員の有無に関係なく一律に入園不許可にしてきた対応を、直ちに改善せよ！

**答**栗原副市長※ 市内在勤者で本市への転入予定がない市外在住の児童については、市民優先の観点から保育施設の欠員にかかわらず、入所としていないが、保育施設における児童の入所状況などの聴取や他市における市外在住者の入所に関する運用状況等を調査した上で、保育施設の利用の適否について、令和6年4月からの見直しは難しいものの、下半期での見直しが可能かどうかも含めて、早期に検討を進める。

☞保育行政 ☞文書管理と事故対応

※印の付いた答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。




川越志政会 **栗原 瑞治** 25  
自治会加入促進




**問** 災害時の助け合いや児童の見守り等、自治会の担う役割は多岐にわたり、活動維持のためさまざま取り組んでいる。特色ある加入促進活動をしている自治会は？

**答** **市民部長** ホームページで地域の行事や出来事をきめ細かくお知らせし、会員以外にも情報を公開している自治会や、年齢等でターゲットを絞った地域の行事を次々に実施して参加を誘い、自治会加入につなげることを目指す自治会、行事や役員の事務を減らして気軽に参加できることをアピールする自治会など、多くの自治会が地域の実情に合わせて、さまざまな工夫を凝らしている。

自治会加入促進



日本共産党 **池浜 あけみ** 27  
市民会館の解体と跡地利用




**問** 市民会館敷地の取り扱いについて共有する川越商工会議所と連携、協議する旨関係課で確認したとのこと。解体を進める上で調査などの予算措置が必要ではないか。

**答** **文化スポーツ部長** 市民会館の解体に当たっては、事前にアスベスト調査などの実施が必要であると考える。


今後、調査項目や必要経費など細かな部分について関係課に確認し、調査に係る予算措置のタイミングや方法について、財政当局と調整していきたい。



災害に強いまちづくり 市民会館解体と跡地利用



日本共産党 **川口 知子** 29  
川越市駅の西口開設を！




**問** 市駅は今から109年前に市民が5千坪の土地を寄付して設置された。利便性向上と街の発展のため、川越市駅西口開設について市の考えを伺う。


**答** **都市計画部長** 川越市駅周辺については、駅の出入り口が東側のみであることなどが課題となっており、駅利用者の利便性向上のため、西口の開設等による西側を含めたまちづくりが必要であると認識している。

しかしながら、川越市駅西側については、都市基盤整備を実施する上での物理的制約等があることから、関係者と調整を図りながら検討していきたいと考えている。

マイナ保険証問題 自衛官募集と住基の閲覧 川越市駅周辺まちづくり




川越志政会 **吉敷 賢一郎** 26  
総合体育館の空調整備を！




**問** 緊急避難場所でもある総合体育館には空調が未整備の施設がある。利用者の健康被害の予防のため、空調設備の早期整備が必要と考えられるが、市長の考えを伺う。

**答** **市長** 総合体育館の空調整備は、利用者へのサービスとしてだけではなく、昨今の温暖化に伴う熱中症などの健康被害への対策、さらには洪水浸水想定区域の緊急避難場所としての機能強化を図るとともに、将来的な総合体育館の利活用方法を見据えた検討を進める必要がある。今後の整備については、規模によっては大きな事業となることから、財源、整備スケジュール等の諸課題への検討を行い、適切に判断したいと考える。

公共施設の空調




日本共産党 **今野 英子** 28  
児童生徒の熱中症予防を




**問** 小中学校の教育活動等において、熱中症を予防し、児童生徒が安心して生活するための環境づくりについての教育長の見解を伺う。

**答** **教育長** 学校においては、熱中症予防はもとより、危険発生の予測と安全確保の徹底に重点を置き、教育委員会と校長が連携し、教職員の意識高揚と相互の協力した環境づくりが大切であると考え。また、自分自身の健康保持のために主体的に行動できる児童生徒の育成にも努めていく。そして、管理職や教職員の危機管理意識を高め、設備整備の計画的な推進を図りながら、児童生徒が安全に学習できる環境の整備等を行っていく。

学校教育での諸課題 健康増進とスポーツ施設



日本共産党 **柿田 有一** 30  
市長が起こした裁判の対応



**問** 市長からのセクハラを告発した女性を名誉毀損で訴えた裁判は最高裁全員一致で市長の訴えを退けた。コンプライアンスが厳しく問われるが市長はどう対応するか。

**答** **市長** 判決の結果については、全く承服していないが、これ以上争う手続きはないので、私から損害賠償請求したこの裁判はこれで終了となる。

市政運営は、個人的行為とは別のことであり、訴訟中も、終了後も何ら変わるところがない。引き続き市政運営に全力で取り組んでいく。

市長の政治姿勢 市民からの相談への対応

## 常任委員会

今定例会において開催した常任委員会の審査経過や、閉会中の活動について紹介します。

本市議会には、詳細に議案を審査するために、4つの常任委員会が設置されています。

今定例会では、市長から提出された26件の議案について、本会議で質疑を行った後、それぞれ所管する常任委員会に付託され、審査しました。

各常任委員会では、付託された議案について担当課から説明を受け、質疑、討論、採決の順で審査を行いました。

審査の結果については、本会議最終日に、各常任委員長が報告し、報告後に議会として各議案の採決を行いました。議決結果は、4ページの議案議決結果一覧表をご覧ください。

なお、委員会の会議録は、議会ホームページ、図書館等で11月下旬ごろから閲覧できます。

### 総務財政常任委員会

総務財政常任委員会では、事件案3件、予算案1件、計4件の議案を審査しました。議案第49号、令和4年度川越市一般会計歳入歳出決算認定の所管部分の審査においては、ふるさと納税や市制施行100周年記念事業や、安全安心通学路対策、男女共同参画推進、防災施設管理など各委員より、さまざまな質疑がありました。審査の結果、賛成多数で認定しました。その他、市民センターにおける順番受付発券機の導入、道路路面表示の修繕、斎場の火葬炉関連設備等の修繕などに係る補正予算を含む3件の議案について審査の結果、原案のとおり可決しました。



委員会での審査の様子

**委員の構成**

委員長	牛窪 喜史	副委員長	嶋田 弘二
委員	小林 透	小島 洋一	伊藤 正子
	今野 英子	栗原 瑞治	
	小高 浩行	高橋 剛	

### 保健福祉常任委員会

保健福祉常任委員会は、議案審査に先立ち、環境衛生センターを視察しました。同施設は公共下水道が普及していない区域のし尿や浄化槽汚泥の処理を行う施設として昭和55年に稼働開始しましたが老朽化のため改築整備計画が進められています。

議案審査は2日間行われ、令和4年度決算6件、条例改正6件、令和5年度補正予算3件を審査し、全て認定・原案可決しました。決算審査では、執行率の低かった困窮者・子育て世帯への給付金支給やワクチン接種などの事業への質疑の他、生活保護と自立支援・教育支援、子育て短期支援事業、産前産後サポート、高齢者施策などが論議されました。利用者が伸び悩む施策には市民への周知が課題と指摘されています。



環境衛生センターでの現地視察の様子

**委員の構成**

委員長	柿田 有一	副委員長	衆 真美子
委員	柳沢 貴雄	神田 賢志	須藤 直樹
	中村 文明	吉野 郁恵	川口 啓介
			樋口 直喜

委員会の名称、委員定数および所管

委員会名	定数	所管内容
総務財政常任委員会	9人	総合政策部、総務部、財政部、市民部、秘書室、広報室、防災危機管理室および会計室ならびに選挙管理委員会、監査委員、公平委員会および固定資産評価審査委員会の所掌に関する事項
文化教育常任委員会	9人	文化スポーツ部および教育委員会の所掌に関する事項
保健福祉常任委員会	9人	福祉部、こども未来部、保健医療部および環境部の所掌に関する事項
産業建設常任委員会	9人	産業観光部、都市計画部および建設部ならびに上下水道局および農業委員会の所掌に関する事項

文化 教育 常 任 委 員 会

文化教育常任委員会では、2件の議案を審査しました。初めに常設展示室模型の補強改修の予定となっている博物館へ現地視察に赴き説明を受けました。

議案第49号、令和4年度川越市一般会計歳入歳出決算認定についての所管部分の審査においては、いじめ対策や教育相談の充実、英語指導助手の活用状況などについて種々質疑があり、審査の結果、賛成多数で認定しました。

議案第69号、令和5年度川越市一般会計補正予算（第4号）の所管部分については、川越運動公園陸上競技場トイレの改修工事、小中学校の消防設備などについて種々質疑が行われ、審査の結果、原案どおり可決されました。



博物館での現地視察の様子

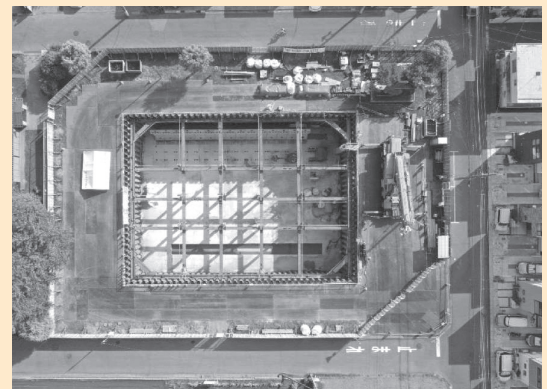
- 委員の構成** 委員長 田畑 たき子 副委員長 池浜 あけみ  
 委員 加藤 みなこ 小林 範子 松本 きみ 倉嶋 真史 山木 綾子(※)  
 小ノ澤 哲也 小野澤 康弘 ※議長のため、委員会の活動を辞退しています。

産 業 建 設 常 任 委 員 会

産業建設常任委員会では、11件の議案を審査しました。

議案第49号、令和4年度川越市一般会計歳入歳出決算認定についての所管部分の審査においては、グリーンツーリズム拠点施設整備について、コロナ禍の就労支援事業について、調整区域内農地の管理状況について、などさまざまな質疑がありました。審査の結果、賛成多数で認定しました。その他10件の議案についても、審査の結果、認定または原案のとおり可決しました。

また、定例会前の8月22日に協議会を開催し、寺尾地域内の浸水被害軽減のため整備している藤原町雨水貯留施設を現地視察し、施工業者による説明を受けました。貯留施設内部を確認できたことは貴重な機会となりました。



現地視察を行った藤原町雨水貯留施設

- 委員の構成** 委員長 中野 敏浩 副委員長 村山 博紀  
 委員 鈴木 謙一郎 吉敷 賢一郎 小林 薫 川口 知子 片野 広隆  
 桐野 忠 中原 秀文

## 議会情報

川越市議会に関する情報をお知らせします。

### 川越地区消防組合議会議員

1名の欠員が生じたため、9月14日に選挙を行った結果、次の議員が当選しました。 片野 広隆 議員

### 議員提出議案

**■ 川越市議会会議規則の一部改正 一原案可決一**  
災害対策支援本部の運営および災害発生時の議員の活動指針等に関し、協議または調整を行う、災害対策支援会議を廃止するもの、および、川越市議会におけるICT活用推進に関し、必要な事項を協議するため、新たな協議の場を設けようとするものです。

### 議員研修動画の上映会

「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が令和3年に改正されたことを受け、全国市議会議長会がホームページ上で公開している研修モデルプログラムの上映会を行いました。主に1・2期の議員が参加し、地方議会における男女共同参画の推進と、政治分野におけるハラスメント防止について学びました。

### 議場コンサート

8月30日、今定例会の開会日に議場コンサートを開催しました。

今回は、川越市出身で歌手の三上志織さん、ジャズオルガニストの西川直人さんにより、『My Favorite Things』『Elie My Love』『What a Wonderful World』『Fly Me to the Moon』の4曲を演奏していただき、議場を盛り上げていただきました。

### 編集後記

全国的に記録的な猛暑に見舞われた今年の夏、暑気あたりした方も多かったのではないのでしょうか。

川越市議会は8月30日から9月28日まで9月定例会が開かれ、決算を中心に質疑が行われました。決算の審議は1年間の予算の使われ方が適切か、住民ニーズに合ったサービス（事業）が効果的に行われたか、成果が得られたかどうかを議会としてチェックするものです。今回明らかになった課題は翌年度の予算編成にも反映されることが望ましく、引き続き、注視してまいります。

30名の議員が行った一般質問もぜひご覧ください。

(衆 真美子)

### ICT活用推進委員会

川越市議会会議規則の一部改正に伴い、新たな協議の場としてICT活用推進委員会が設置されました。

9月28日に委員会が開催され、正副委員長の内選が行われました。

正副委員長および委員は次のとおりです。

委員長	高橋 剛	副委員長	今野 英子
委員	小島 洋一	伊藤 正子	松本 きみ
	倉嶋 真史	須藤 直樹	嶋田 弘二
	小高 浩行		



研修を受ける議員の様子



議場で演奏を行った三上志織さんと西川直人さん

### 記事の訂正とおわび

令和5年8月1日発行のかわごえ議会だよりに誤りがありました。深くおわび申し上げます。次のとおり訂正させていただきます。

2ページ

市長提出議案 市税条例の一部改正  
改正の内容の3番目

【誤】 軽自動車について

【正】 軽自動車税について